

# 岐阜県の プラスチック

53年度技能検定実施内容決まる 第24号



## 北館増改築終わる 岐阜県工業技術センター

岐阜県工業技術センター（羽島郡笠松町北及）は、52年度事業として北館増改築工事と新規設備の設置を進めてきたが、このほど終了、新しい研究体制が整った。これは年度当初の組織

の一部改正で繊維部が独立、繊維試験場として新しく技術センター内に併設されたことから、庁舎の増改築を行なったもの。

増改築によって誕生した研究、実験室は官能検査兼微生物試験室、工業・服飾デザイン研究室、製品科学研究室、縫製技術研究室、環境試験室など15室にのぼった。（写真は新装なった工業技術センター、後方が増改築した北館）

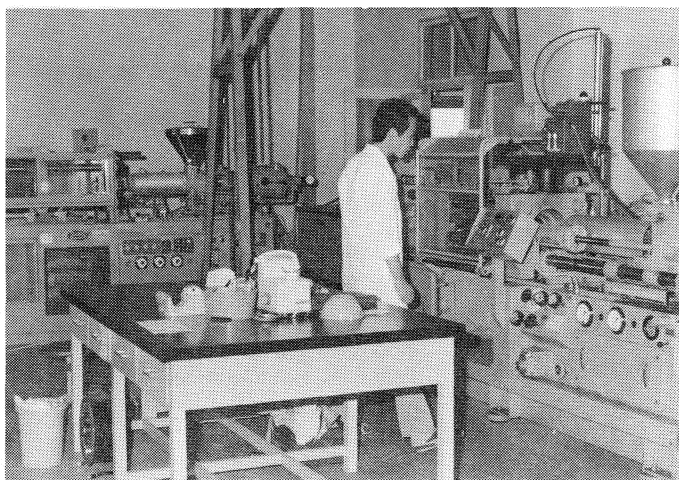
# 施設の公開や研究発表

4月17日から「科学技術週間」開く

## 県工業技術センター 技術相談所も開設

4月17日から1週間は科学技術週間。科学技術に関して広く一般国民の関心と理解を深め、科学技術の振興をはかるのが目的である。

岐阜県工業技術センターと繊維試験場では、期間中に研究発表会、記念講演会、設備公開ならびに説明会、技術相談所開設などの行事を催し、科学技術の重要性を呼びかける。とくに設備公開では、技術センターおよび繊維試験場を一般公開するので、同時に庁舎の増改築にともない導入した最新機器の紹介と利用説明会がある。



種材料試験機器、熱分析装置、X線回析装置、放射線測定装置など分析機器があり、高分子材料の物理的特性や化学的性質を研究している。

### 充実しているプラ関係の施設

プラスチック関係の施設は、従来からかなり充実しており「技術週間中の設備公開を機会に見学してほしい」とセンター側では呼びかけている。プラスチック関係の施設は、北館1階の高分子加工実験室と本館3階の高分子研究室にわたる。

加工実験室（写真）には射出、圧縮、押出の各成形機が設置され、高分子材料の加工性、製品化の諸問題についての解明、応用開発および成形条件確立などの基礎研究を行なっている。また、高分子研究室にはオートグラフをはじめ各

### 職員の研究発表は14テーマ

科学技術週間の主体行事として開かれる記念講演会は、17日午後日本科学技術情報センター名古屋支所の松尾弘貴氏を招き『中小企業の技術開発と情報』のテーマで技術開発と情報の重要性を聞く。この記念講演に先だって17日午前中には、センターと繊維試験場の職員研究発表会を開く。

発表内容は①I Dと製品開発（小川一博）②高分子凝集剤の農作物への影響（西川治光）③官能試験による内径の寸法測定（長屋喜八）④資材の開発（石樽芳直）など14の研究発表が予定されている。

## 金利0.2%下げ 岐阜県 制度融資の一部改正

岐阜県は53年度に実施する制度融資の一部を改正し、利率など貸付条件を緩和した。この改正はさきの公定歩合引き下げと関連するもので、利率は各制度とも年0.2%ずつ下げ、下請企業振興資金と事業転換資金は、融資期間が2年間ずつ延期された。

改正内容を個々にみると、中小企業経営安定資金では、経営安定が利率7.2%から7.0%に下がり、個人、会社に対する貸付限度額が1,000万円から2,000万円に増わく。関連倒産防止、下請企業振興、事業転換も利率7.2%から7.0%に下がり、技術開発促進は6.8%から6.6%に下がった。

融資期間の延長では、下請企業振興の運転資金が3年から5年に、設備資金は5年から7年に改められた。

### 中小企業季節資金も金利下げ

このほか中小企業短期運転資金は利率6.8%から6.6%に、無担保無保証人制小口資金は6.

7%から6.5%に下がった。

また、短期の融資制度として夏季、年末の中小企業季節資金は、利率7.1%から6.9%に下がった。詳細は組合事務局へ。

### 業界が電気用品調査委に参加

電気用品取締法に基づく電気用品の技術上の基準などを定める省令に対し、意見や資料を提出する調査委員会が日本電気協会に設置され、具体的な検討を続けている。すでに昨年9月には通産省資源エネルギー庁に対し「電気用品に使用される絶縁物」について答申した。この結果、今年8月から暫定措置として答申内容どおり運用されることになった。

一方、プラスチック業界では日本合成樹脂技術協会のみ調査委員会に参加してきたが、電気用品に対するプラスチック製品の位置がますます重要化する傾向から、現状では不十分であるとの意見が高まってきた。このため関係業界が種々検討した結果、プラスチック業界は①成形品②熱硬化性樹脂③一般用熱可塑性樹脂④工業用熱可塑性樹脂—の4つのグループに分け（下図参照）てそれぞれが中心団体を決め、その団体が調査委員会に参加することにした。

「電気用品調査委員会」に対するプラスチック業界態勢一覧表（同委員会への入会団体とそれ以外の諸団体、諸会との関連）

分野	入会団体		入会団体が包含する諸団体、諸会など
	名称	備考	
熱硬化性樹脂	合成樹脂工業協会		ウレタンフォーム工業会、エポキシ樹脂技術協会 (今後必要に応じ強化プラスチック技術協会)
一般用 熱可塑性樹脂	石油化学工業協会	事務局： 技術部が担当	日本ABS樹脂工業会、日本メタクリル樹脂協会、日本ビニル工業会
工業用 熱可塑性樹脂	ポリアミド樹脂技術・衛生研究会	事務局： 日本弗素樹脂工業会内におく	日本弗素樹脂工業会、シリコン工業会、ポリカーボネート樹脂技術研究会、PET樹脂電取法研究会、PB T樹脂“電気用品問題研究会”、ポリアセタール樹脂技術研究会（仮称）、ノリル樹脂技術研究会（仮称）、ポリアリレート樹脂電取法研究会
射出成形品および圧縮成形品	全日本プラスチック成形工業連合会		—

# 技能検定 内容決る 合格発表は10月17日

岐阜県技能検定協会は、53年度前期技能検定実施内容を発表した。プラスチック関係は例年どおり射出成形作業が実施される。受験申請書の受付は5月1日から同12日までで、組合は6日午前中までにまとめて申請する予定。

技能検定のスケジュールは、実技試験の問題公表が6月14日、実施が6月29日から9月末日までの日から選ばれる。学科試験も9月の10日、17日、24日の3日間から選ばれる。合格発表は10月17日です。（詳細は当工業組合事務局へ連絡下さい。）

## 振動・騒音も規制

### 1日から全県下に適用

振動規制法の地域指定がさる3月10日告示され、4月1日から岐阜県下13市の区域に適用された。また、県公害防止条例施行規則の一部改正も3月10日に岐阜県規則をもって改正され、4月1日から町村についても振動規則法と同様県条例により適用されることになった。

振動規制法の主な内容は次のとおりで、岐阜県公害防止協会は組合、団体を通じて企業に「

定められた事項を十分留意し、規制法を守ってほしい」と呼びかけている。

＜振動・騒音に係る特定施設＞ 振動規制法および騒音規制法並びに県公害防止条例（振動は振動規制法と同一施設）に基づく施設は、業界関係で合成樹脂用射出成形機、合成樹脂用粉碎機、合成樹脂用ロール機が振動、騒音ともに指定され、粉碎機は定格出力3.75キロワットが指定されている。

届出は市の場合、届出書を2部作成し、市長あてに届出ること。町村の場合は、騒音規制法と県公害防止条例の規制法律によって届出方法が異なるので注意すること。

### 公害防止管理者を選任せよ

＜公害防止管理者＞ 金属加工機械のうちプレス、鍛造機を設置している工場は、6月10日から公害防止管理者を選任し、市長または町村長に届出なければならない。

それ以外の特定施設についても県公害防止条例により公害防止管理者（無資格でもよし）を選任しなければならない。不明な点は市町村の公害担当課、県事務所総務課まで。



## 秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7  
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)  
TEL <052> 582-5071

# LINEUP めいしよん

## プラスチック加工業の問題点

〈懸賞論文募集〉 日本プラスチック工業連盟は「わが国プラスチック加工業の将来のあり方」（5～10年先を見通す）をテーマに、プラスチック加工業の問題点、将来のあり方についての意見を募集している。

枚数は400字詰原稿用紙40枚程度（図表を含む）で、締め切りは4月末日まで。賞金は入選者1名に20万円、佳作があるときは5万円あるいは相当品が送られる。掲載は月刊「プラスチック」紙上。審査は大島敬治住友ベークライト特別顧問ら7人。

## ジャバンプラに英国から出品

〈ジャバンプラス78〉 「第7回日本プラスチック・ゴム見本市」は、11月17～23日の7日間、東京・晴海の国際見本市会場で開かれる。主催の日本プラスチック見本市振興会の話によると「出品申込みは順調で、1月現在では予定する小間700小間の約80%にあたる540小間（96社）を受付けた」という。

特徴は前回（76年大阪開催）に比べ小間数

を増やしたい出品企業がかなりあったこと。また、RAPRA（イギリス・ゴム・プラスチック総合研究所）が初出品することが決定し、注目される。

## 去年の免許取消しは約3万人

〈危険運転者が増加〉 岐阜県の自動車運転免許人口は、昨年末で71万2,636人に達し県民の2.7人に1人が車を運転できることがわかった。

ところが昨年中に運転免許の行政処分を受けた人は、2万8,696人（取消し933人、停止2万7,763人）で、前年より5,607人も増加、県内運転免許人口の4.03%にもなる。原因別では交通事故で免許取消し処分を受けた約半数がひき逃げ、飲酒などによる事故。交通違反で取消し処分を受けた人は飲酒運転、無免許運転、速度違反が大半を占める。

免許取消しや長期停止処分のほとんどが飲酒運転・速度違反・免許中無免許であった。

## 大野郡白川村に「いこいの広場」

〈研修に白川郷ロッジを〉 岐阜県は雇用促進事業団と白川村の協力で、大野郡白川村長瀬に「いこいの広場・白川郷ロッジ」を開設、研修や旅行に好評を拍している。利用希望は05769⑤2357番へ。

## 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

## 岐阜プラが大臣賞 成形品コンクールで受賞 三甲は通産局長賞

全日本プラスチック成形工業連合会主催の「第11回優秀成形品コンクール」は、このほど全日本プラスチック成形工業連合会の会議室で開かれ、岐阜県関係では、岐阜プラスチック工業のポリプロピレン製「大型水産養殖用いけす」（写真上）が通産大臣賞に、また、三甲のポリプロピレン製容器「ビーンハーベスタートレー」（写真下）が名古屋通産局長賞と石油化学工業協会賞にそれぞれ選ばれた。

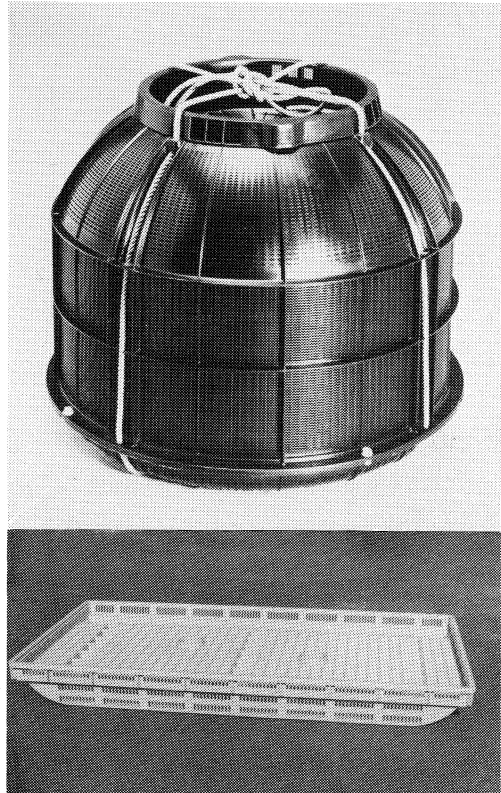
このコンクールは通産省、日本プラスチック工業連盟などの後援をえて毎年開かれ、今年はいずれも高い技術水準を保っており、射出成形、圧縮成形の分野はまだまだ工夫しだいで新用途を開発していきける」との講評があった。

受賞した岐阜県関係2社の製品は次ぎのとおり。

### 受賞した2社の製品紹介

▽通産大臣賞（大型水産養殖用いけす＝岐阜プラスチック工業）200カイリ漁業規制によって、わが国は水産物の養殖の普及が迫られ、その期待に応えて開発された。ポリプロピレン製でふた、胴、底の各部分から成形される。すでにハマチ、伊勢えびなどのいけすに使用され、耐久性、強度に優れている。

▽名古屋通産局長賞・石油化学工業協会賞（ビーンハーベスタートレー＝三甲）豆類収穫時の省力化容器。北海道地方は豆類の生産が盛んで、従来は収穫の際は刈取り機で刈取った枝付き豆



を野積みで乾燥していたが、この容器を使って刈取り作業→野積み→乾燥の一貫作業の省力化を図ることができる。底面にソリ状の脚を有した網目状なので、通風効果があり、さらに底面にある塩ビ筒によって中心部の乾燥通風ができるという。

### 国と県が青年海外派遣者募集

総理府と岐阜県は、53年度の青年の海外派遣事業を実施するため、参加者を募集している。

総理府は長期、短期、青年の船の三コースにわかれ、20歳以上26歳未満の男女。岐阜県の場合は海外派遣と訪ソ青年の船の二コースで、20歳以上、30歳未満の男女。

経費は総理府の場合は直接経費を国が負担、県の場合は負担金の半分程度を市町村か企業が助成する。詳細は20日まで事務局へ。

◎エチレン新年度も回復望めず◎

石油化学工業協会はこのほど53年度のエチレン需要量について検討し、413万トン、今年度生産実勢比3.7%増の予測をまとめた。この数量は各誘導製品の需要見込みを積み上げ、エチレンベースでの需要想定を行なったもの。

新年度も早急な回復は望めず、小幅な伸びにとどまる見通しが出たのは「ポリエチレン、ポリスチレンなど石化誘導製品の需要はいぜん停滞傾向にある」「公共投資、住宅関連投資の拡大など政府の景気刺激等にかかわらず、需要にはっきりした動向がみられない」などが理由。

◎FRPの課題はデータの整備◎

強化プラスチック技術協会は、全国のFRP業界関係者を対象にアンケート調査を行なった。それによると①7割以上の方が、業界の前年実績(51年18万トン)を力量不足と見ている②業界の課題のトップにFRP技術データの整備、規格の確立をあげている③今後の有力なFRP市場のトップに自動車・車輛をあげている④FRP需要拡大の決め手として、FRPの省エネルギー性をもっとも需要視している⑤昭和55年度の生産量予想では、全体の55%の人が20~30万トンと見ている - など。

◎発泡スチロール専用の処理機◎

中村商事(太田市藤久良)は発泡スチロールの処理専用機「モルトンNM-MA型」を市販開始した。

これまで発泡スチロールを原料とした梱包用材や生鮮食品用パックなどの処理は、まとめて燃やす方法が一般的とされていたが障害が多いため、ブロック化することによって、スチロール資源の再利用も可能な溶解方式採用の専用機

の受注生産に乗り出したもの。特徴は①黒煙が出ず、ガス発生の危険がない②機械の移動ができる③電源は100ボルト④冷却水が少量で操業可能 - など。市販価格は168万円。

◎西独65都市にゴミの取引所◎

工場で役に立たないものとして捨てられるゴミには、大切な生産品の原料となるものが多いが、そのようなゴミを提供する側の人と買い集める人との間で、相互取引をするのに都合のよいゴミ取引所と名付けられた機関が西ドイツの65都市に創設された。

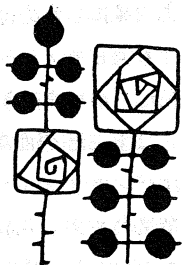
その一つブレーメン市に設けられたこの施設はすでに大きな成果を収めている。ブレーメンは大きな貿易港で、取引所へは廃品、くず鉄、包装材料、プラスチックくずなどが持ち込まれ、その需給は取れているという。

日本で最初に名刺を用いた人 雑学事典

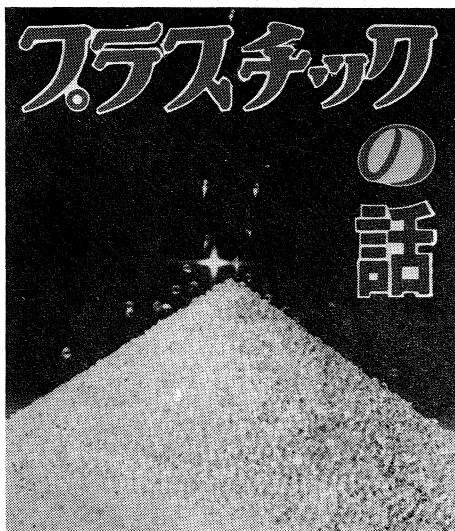
名刺の起源は、昔、中国で竹を削って姓名を記したものに始まるという。西洋では近代に入って、紙製に姓名を印刷した形式のものが生まれた。日本で最初に名刺を用いたのは、文久三年、フランスの使節として派遣された池田篤後守長頭である。現地の印刷屋に依頼したものが、デザインは揚羽蝶の紋所の下に、自分の姓名を記したものであった。

それが一般に用いられるようになったのは、明治30年代以降で、それ以前は主として外国人との公式なつきあいに用い

られた。大正時代の戦時成金のなかには、名刺を金箔でつくらせた者もいる。今日、名刺はビジネスになくはならぬものになったが、外国人は日本人ほど乱用しない。







### 残留量が2 P P mなら大丈夫

#### 『塩ビ製の食品容器は安全ですか』

イタリア・ボロニア大学のマルトニー博士によって、塩ビモノマー（気体）を大量に吸入、あるいは経口摂取すると発ガンの恐れがあると指摘され、社会問題となった。これをきっかけ

に米・FDAは、硬質塩ビ容器から塩ビモノマーが食品へ移行する恐れがあるとして規制を提案したが、日本でも大きく報道されたため、塩ビ容器＝危険という短絡した考えが伝わってしまったのです。

マルトニー博士らが実験の対象にしたのは、あくまでも塩ビモノマーであり、私たちが日常使う塩ビ製品とはまったく別のものです。ただ、ポリマーにするさい微量のモノマーが残留することがあり、食品に移行す

る恐れもあるため、世界各国でいろんな実験が行なわれてきたのです。

わが国でも塩ビ容器を使って容器中に残留したモノマーの量と溶出量との関係調べる実験が行われた。この結果、容器中のモノマー残留量が2 P P m以下なら食品に移行しないことが確かめられ、現在、業界では十分な品質管理のもとに1 P P m以下の製品のみ製造・販売しているのです。

現在、市販されている塩化ビニル製食品容器には食用油を入れても、アルコール類を入れても、モノマーが溶出することはなくなったのです。

### 国立衛験のテストから規制値

#### 『材質中の塩ビモノマーが1 P P m以下なら食品に移行しないという根拠を教えてください』

それはわが国の国立衛生試験所、アメリカのダニエルスらの試験から規制値を決めているのです。（表のndは「検出せず」を示す）

材質と移行塩化ビニルモノマー

（単位：ppm）

材質中のモノマー量	溶出溶媒または食品	溶出温度	モノマーの移行量		
			7日	14日	28日
1.7	20%エタノール	50°C	nd	nd	nd
	50%エタノール	〃			
2.4	20%エタノール	〃	nd	nd	0.05
	50%エタノール	〃	0.05	0.06	0.11
	清 酒	〃	nd	nd	nd
2.8	食 用 油	〃	nd	nd	nd
	しょうゆ	〃			
5.0	清 酒	〃	nd	0.06	0.10
	20%エタノール	〃			
9.0	50%エタノール	〃	0.05	0.08	0.13
	食 用 油	〃	nd	0.05	0.07
	しょうゆ	〃	nd	nd	0.05
	20%エタノール	50°C	0.16	0.19	0.21
	50%エタノール	〃	0.10	0.15	0.24
	食 用 油	〃	0.06	0.09	0.11
	しょうゆ	〃	nd	0.08	0.10



# ホース一筋に新分野開拓

## 丸長化学工業



松原辰三郎社長

組合員の工場拜見4月は、岐阜市を流れる長良川の北沿いにある丸長化学工業（松原辰三郎社長、資本家432万円、従業員18人）を訪ねた。創業は昭和26年。松原さんが友

人の長谷川義数さん（現在総プラスチック社長）と共に事業を始めたというから、プラスチックとの取組みは古い。

最初は50ミリの押出機を購入、金網用の針金を被覆した。ところが納入先が大阪であったり、製品自体に付加価値がないことからパッとせず、ビニールホースの生産に転換した。それがあたり、やがてホース生産は軌道に乗り、28年には法人とした。いろいろホース一筋、この8月には晴れの創立25周年を迎える。

## 大企業がやれぬ分野手がける

一口にホースといってもいろいろ。大きく分けると家庭用、園芸用、工業用があり、これが口径、肉厚、色彩、品質別に分類するともう無数。同社はこのうち大企業が手がけにくい、百種類ほどを選んで生産している。つまり多品種少量生産の分野だけを手がけてきた。

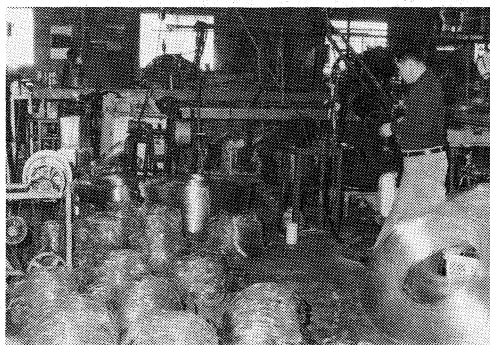
機械施設も順次増え、約千平方メートルの用地にぎっしり建てられた工場に9台の押出機（120～45ミリ）が活動する。製品も近年は、工業用など特殊分野の受注が急増、シーズンによっ

ては家庭用6割に対し工業用が4割にまでなってきた。このため生産施設を整備し、2割増産の体制を作り出すことが当面の課題という。

## 不渡事故3回の苦難から脱出

こうして丸長化学は小規模ながら、専門メーカーとしての地位を築いてきたが、その裏には経営の労苦が秘められている。というのは38年から40年にかけて3回も不渡手形をつかまされたことで「この負債がなかったら、近代工場が建てられたのに…」と、松原さん以下経営陣がくやしがる。いろいろその禍を転じて、松原さんの経営は「堅実」そのもので、これが専門メーカーとしての基盤づくりともなった。

松原さんは72歳。最近では経営面を順次、息



子の工場長・鼎さん（47歳）にまかせつつある。専門メーカーとしての技術開発はすでにこの人の腕にあり、また将来も期待するところが大きいわけで、鼎さんは「ローカルメーカーの生きる道はけわしい。しかし、例えば小企業といえども、つねに新分野を開拓していけば専門メーカーとして十分に生きていける」と話している。（写真は丸長化学の押出成形工場）



□技能検定内容決まる□  
4頁にお知らせしましたように、53年度の技能検定実施内容が決まりました。岐阜県におけるプラスチック検定業種は「射出成形作業」で、各企業の受験希望者は早急に組合事務局へ連絡下さい。

ことしの受験申請書の受付は5月1日から6日午前中までです。

□新年度の事業者台帳作成について□

前月号の事務局だよりでお知らせしましたように、当組合では昭和53年度の組合員名簿作成と新しい組合づくりの資料にするため、事業者台帳作成調査を進めています。組合員各社へは調査書を郵送しましたが、調査項目にしたがって記入、早急にご返送下さい。

個々の調査内容は部外秘として扱います。調査の結果出てきた事業概容をもとに、将来組合が取り組むべき共同事業実施のための資料とします。また、組合事務局へ問い合わせのある下請け依頼や商品紹介、あっせんなどにも役立てたいと考えています。

□工組第10回通常総会開催について□

当工業組合の第10回通常総会と岐阜県プラスチックデザイン協会の総会が5月中旬(12

日の予定で準備)に開催されます。

議題は①52年度の事業報告②同決算報告③53年度の事業計画案と収支予算案一などが予定されています。各組合員の皆様におかれては万障繰り上げてご出席下さい。

□工業技術センター場長に北村氏就任□

岐阜県工業技術センターの場長に北村敏雄氏(繊維試験場場長)が就任されました。北村さんは工業試験場化学部長時代からプラスチック業界を指導され、工業組合設立やその前身である協会の生みの親です。技術センターと業界の連携が大いに期待されます。

岐阜県のプラスチック  
1978 4月号

昭和53年4月5日印刷

昭和53年4月6日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号  
(岐阜産業会館内)

電話(0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松 幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582) 47-7231

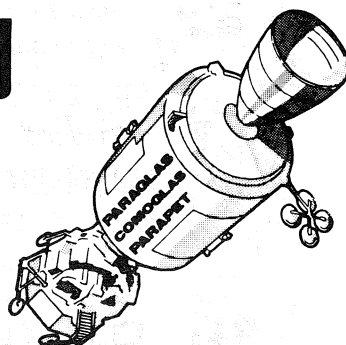
中部パブリシティセンター

# 三菱油化株式会社

取締役社長 黒川 久

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)  
TEL (03) 283-5689(代)  
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル5階)  
TEL (052) 563-5641(代)

# 限りなき創造空間 への挑戦



メタクリル樹脂・注型板

**パラガラス**<sup>®</sup>

メタクリル樹脂・押出板

**コモガラス**

メタクリル樹脂・成型材料

**パラペット**<sup>®</sup>

国産無公害資源“天然ガス”の総合開発分野を  
リードする協和ガス化学。その『メタクリル樹脂  
製品』は生産量で世界の五指に数えられ、  
モノマーから、ポリマーまで一貫生産され、  
圧倒的信頼とシェアを誇っています。



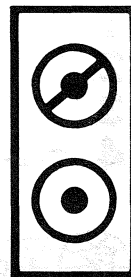
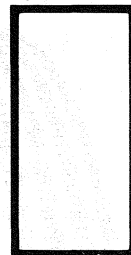
**協和ガス化学工業株式会社**

本社/〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)271-3001  
大阪事務所/名古屋営業所/福岡営業所/仙台営業所

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

**JSR NF94**  
**JSR NC100**



**日本合成ゴム株式会社** 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

染料 }  
工業薬品 } 販売  
合成樹脂 }

# 山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号  
TEL (03) 256-7861(代)  
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)  
TEL (052) 961-6591(代)

新製品 粒状カラー

## ダイカラー グラニュー

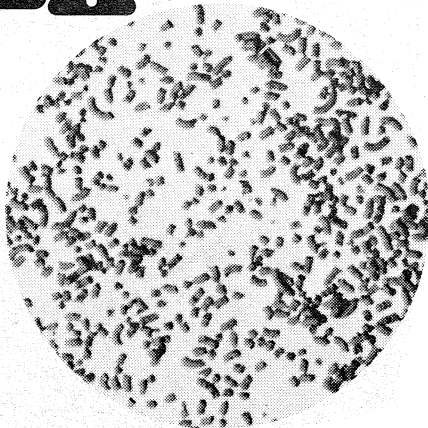


### 7つの特長

プラスチック着色合理化の決め手——コストダウンに直結する簡易着色法に最適の粒状カラーが「ダイカラーグラニュー」です。従来のドライカラー・液状カラーと比較して、よりすぐれた7つの特長もっています。

1. 飛散性が少なく職場を清潔に保ちます。
2. 自動計量安定性がすぐれています。
3. すばらしい分散性を示します。
4. ソフトな粒状で軽い攪拌でほぐれます。
5. 直接投入式着色法に最適、カラーブレンド工程を省略できます。
6. 成形品の物性を低下させません。
7. 成形性に影響を与えません。

〈ダイカラーグラニュー〉は現在市販中の大半の自動計量機にそのまま適用できます。



●名古屋支店……………名古屋市昭和区花見通り2-3 ☎466 Tel 052(831)3211

# 騒音防止板“L/LM-S” 騒音対策コンサルタント

電話一本で貴社の悩みを解決します

防音工事全搬のご相談に応じます

## 徳山ポリプロ

## 徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム

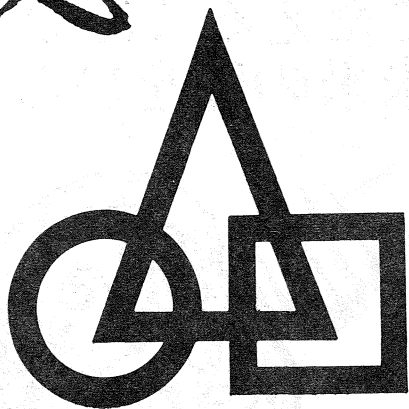


# 徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区広小路西通り3丁目4番地(新名古屋ビル東館5階)  
電話(052)581-1304(代)

# 出光の石油化学製品——



### ◎取扱品目

ポリスチレン  
高圧ポリエチレン  
中低圧ポリエチレン  
ポリプロピレン  
ABS樹脂  
不飽和ポリエステル  
カルプ®  
ポリカーボネート

## 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

東京営業所 東京都中央区日本橋1-7-17(日本橋東海ビル) 〒103 ☎ 03-272-8331

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611

大阪営業所 大阪市北区小松原町27(富国生命ビル) 〒530 ☎ 06-312-8841

福岡営業所 福岡市中央区大名2-8-26 〒810 ☎092-721-6617



## 生きてる素材。 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト**®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット**®

ABS樹脂

**ダイヤペット**® **ABS**

**三菱レイヨン**  
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



## ニーズに**適確に** こたえることで 未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

**信越ポリマー**

名古屋市千代田区広小路西通3-4(新名ビル東館) ☎052(581)4231

# 日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

**NISSEI**  


1歩進んだ射出成形機をおとどける

**日精樹脂工業株式会社**

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代) 〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)  
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(茜ビル) ☎(0582)72-5952

合成樹脂原材料及び機械

**KOSHI**

日清紡績株式会社代理店  
三菱モンサント化成株式会社代理店  
ダイセル株式会社代理店  
松下電工株式会社代理店  
三菱レイヨン株式会社代理店  
日本合成化工株式会社代理店  
三菱瓦斯化学株式会社代理店  
東芝ケミカル株式会社代理店  
其他著名メーカー特約販売



**甲子産業株式会社名古屋支店**

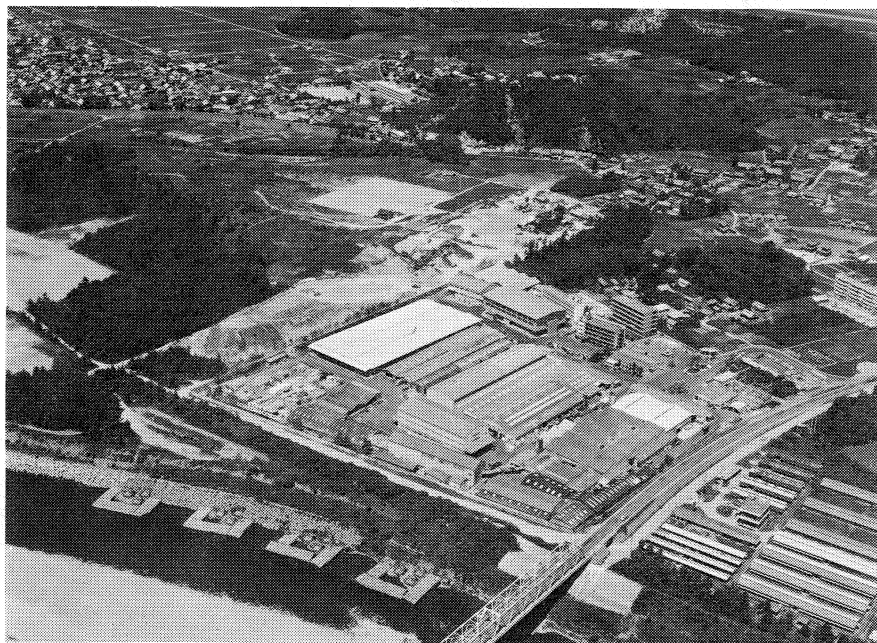
名古屋市昭和区白金1丁目4番13号  
電話 (052) 882-0631(代表)



すぐれた品質と広範囲なシェアをもつ!!



**リス**のプラスチック



非常に多くの適用範囲でしかも経済的に使用できる商品は他にはない。リスマークは岐阜プラスチック工業(株)が成形しているプラスチック製品につけられたブランドネームです。全国における販売シェアは常にトップクラスにランクされています。家庭用品から大形コンテナまで、そのすぐれた品質・機能・デザインは全国の市場で高く評価されています。

## 岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)  
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)  
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮